

第5次結城市総合計画実施計画策定及び行政評価シート

担当部署	部 局 名	教育委員会		
	課 名	スポーツ文化課		
	係 名	文化係		
	記 入 者	斉藤伸明	電話(内線)	610

1. 事業の概要

(1) 事業種別 [新規又は継続]	継続	(2) 事務事業 の名称	計画 予算	市民文化センター管理運営事業	(3) 事業の 優先度	A			
(4) 総合計画での位置づけ				(6) 事業主体	市				
① 事業の区分	主要事業	(7) 予算・ 財源等 の種別			事業の性質	一般事業費(ソフト事業)			
② 施策コード	44101				(総合計画掲載ページ)	111	会計区分	一般会計	
基本目標(政策)	4				未来を担う子どもと地域を支える市民を育むまちづくり(教育・文化)			財源区分	市単独
基本施策	4				個性豊かな芸術文化の創造(芸術・文化)			予算科目	款 10 項 5 目 7
施策	芸術文化を楽しむ機会の充実				予算書上の	文化施設管理運営経費			
施策内容	文化施設の管理・運営				事業名称	(予算書 172 ページに掲載)			
(5) 事業期間	開始				3 年	4 月から	(8) 事務分類	自治事務	
	終了	年	月まで (年)	根拠法令					

2. 事業の目的及び内容

(1) 対象者(だれを・何を)	(3) 事業内容(具体的に何を行うのか、そのために何を行うのか)
文化施設(市民文化センター) 市民(利用者)	平成16年度より指定管理者制度を導入して、市民文化センターの管理運営を委託し、市民のニーズに応じた幅広い分野の自主事業や共催事業を開催するとともに、市民が利用しやすい運営を図っていく。 また、老朽化した備品を、随時更新していく。
(2) めざす姿(どのような状態にしたいのか・意図)	
市民の文化・創作活動の拠点として、利用しやすい環境整備を行い、利用件数や利用者数を増やすことによって、市民が優れた文化に数多く触れることをとおして、本市の文化振興や向上を図る。	
■ 事業の全体計画(※計画等がある場合、H24年度末時点で記入)	
・ 総事業費 千円 ・ 進捗率 %	
(4) 事業開始のきっかけや市民・議会の要望や意見、他市の状況など(※ 1-(8)事務分類 法定受託の場合は、記入必要なし)	
社会の急激に変化しつつあるなか、文化は人の心に豊かさや潤いを与え、活気あふれる地域社会を作り出すうえで重要である。本市でも平成3年の市民文化センターの開館を機に、市民の文化活動がより活性化し、また、平成16年度の指定管理者制度施行を機に、市民文化センターが平成18年度から指定管理者制度が導入され、市民の文化・芸術の発信拠点としての役割はますます高まっている。	

3. 事業コスト及び改善措置

行政評価 実施計画		実績内容の評価		検討・改善		検討・改善内容を反映		
● 予算内訳		実績・決算額（千円）		予算額（千円）		計画額・見込額（千円）		
事業内容		24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度		
(1) 事務事業費の コスト	事業費							
	管理運営委託料	70,135	74,168	74,000	74,000	74,000		
	備品購入費	3,360	2,993	10,000	10,000	10,000		
	事務経費	121	115	115	115	115		
	合計	73,616	77,276	84,115	84,115	84,115		
	財源							
国庫支出金（千円）								
県支出金（千円）								
地方債（千円）								
その他特定財源（千円）								
一般財源（千円）	73,616	77,276	84,115	84,115	84,115			
合計（千円）	73,616	77,276	84,115	84,115	84,115			
補助・起債制度名								

(2) 平成25年度以降の改善・改革点(※ 記入の必要なし)

結城市文化振興条例を制定し、市民文化センターを法的にも文化振興の拠点として明確に位置づけ、文化振興に関する施策を策定する。
また、施設用備品についても、開館以来使用しているものが多く、ほとんどが耐用年数を超えて老朽化しているため、年次計画により、随時更新していく。

4. 指標の検証（活動指標・成果指標）

指標の名称			単位	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度
(1) 活動指標（実施した事業の内容）								
実施 内 容	市民文化センター事業開催数	目標値	件		13	15	15	15
		実績(見込) 値		12	13			
	施設利用件数	目標値	件		2,600	2,600	2,600	2,650
		実績(見込) 値		2,600	2,600			
(2) 成果指標（事業実施による施策指標の達成度）								
施策 の 指 標	市民文化センター利用者数	目標値	人		222,000	221,000	222,000	223,000
		実績(見込) 値		219,348	222,000	221,000	222,000	223,000
		達成率		98.4 %	99.6 %			
		目標値	人					
		実績(見込) 値						
		達成率		%	%			

5. 事業評価

(1) 平成24年度の行政評価結果をうけて、平成24年度に取り組んだ改革改善点について記載してください。	
本市の文化振興に寄与できる自主事業の開催や、管理運営を実施した	

(2) 項目別評価

評価項目		評価の指標		客観的評価点及び評価理由		
1. 目的妥当性		①事業の必要性,緊急度は高いですか？		5	ますます必要性は高くなっている(または、緊急性が極めて高い)	
		②行政が実施すべき事業ですか？		4	法的な問題などがあり、行政がやるべき事業である	
		③受益者が特定の個人や団体に偏っていませんか？		5	広い範囲に対して便益が提供されており、偏りは見られない	
14	A	補足	本市の文化・創作活動の拠点として有効に利活用を図れる管理運営を行っていく。			
2. 効率性		④事業の手段（やり方）は適切ですか？		3	どちらとも言えない	
		⑤コスト効率、人員効率は高まっていますか？		3	どちらとも言えない	
6	B	補足	施設の管理運営を指定管理者に委託をしているが、指定管理者導入を継続すべきかは、検討する必要がある。			
3. 有効性		⑥活動指標、成果指標は達成されていますか？(指標達成度)		4	概ね目標水準に達している	
		⑦事業の成果の進捗は順調ですか？（進捗度）		3	ある程度進んでいる	
		⑧事業のめざす姿は基本施策の目標達成に貢献できますか？（貢献度）		4	基本施策への効果が高まる、または基本施策の効率化が図れる	
11	A	補足	自主・共催事業は、市民の要望に応じて幅広い分野にわたり実施しているため、中には採算が合わない事業もあえて実施している。今後は、全体として採算が取れる事業を計画していかなければならない。			
4. 総合評価		事業全体について評価し,問題点,課題等を指摘してください。				
31 / 40		施設の管理については特に問題は無いが、市民文化センターについては開館後21年が経過し、施設・設備の老朽化が進んでいるため、今後、施設・設備の改修を行い、利用者の利便性や安全性の確保が課題となってくる。				
[5×8項目]						
5. 対応策・提言等		この事業をどのように改善・改革をしていきますか？				
		平成25年度 [事業実施段階 における改善点]	市民文化センターの自主事業において、市民参加型事業の内容を検討していく必要がある。			
		平成26～28年度 [今後の事業見込 による改善点や 改革点]	結城市文化振興条例を制定し、市民文化センターを法的にも文化振興の拠点として明確に位置づけ、文化振興に関する施策を策定する。 また、施設用備品についても、開館以来使用しているものが多く、ほとんどが耐用年数を超えて老朽化しているため、年次計画により、随時更新していく。			

6. 事業の方向性判断

評価主体	25年度以降の事業の方向性	評価理由・根拠
(1) 記入者評価 記入者が評価を行う	改善・改革しながら継続(成果向上・コスト維持又はコスト削減, 成果維持・コスト維持又はコスト削減)	注)記入者は「5. 事業評価」を記載するため, この欄は未記入で結構です。
(2) 一次評価 担当課長が評価を行う	改善・改革しながら継続(成果向上・コスト維持又はコスト削減, 成果維持・コスト維持又はコスト削減)	市民文化センターは, 指定管理者として(公財)結城市文化・スポーツ振興事業団が指定されており, この管理運営事業である。これに市民情報センター・鹿窪体育館を加えた3施設は結城の顔であり, 継続していかなければならない。
(3) 最終評価 企画調整会議において 評価を行う		上記評価のとおり